

事業所 自己評価表

	チェック項目	改善目標、工夫している点など	事業所としての対応
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休暇の時は、利用者も多く、狭いと感じることがあり、危ないと思うことがあった。</li> <li>・利用人数に合わせ、部屋の数を変え、使用目的もそれぞれの部屋にあり、良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が重なる場合は、部屋の移動などで対応。音の敏感な方にはボルダリング室など離れた部屋を活用し、臨機応変に対応していく。</li> </ul> <p>※生活介護事業の利用者増加に合わせ、4月からの布団類の配置を曜日別に検討。</p>
	3 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音に敏感・苦手なお子様、ご利用者に対して、部屋を別にすることもできて声などは聞こえているので、環境調整ができているのかと思うことがある。部屋を分けることで職員の配置も変わってくる。</li> <li>・椅子、ロッカー、靴箱などの名札をイラストの子や文字のみにするなど子どもに合わせ工夫をしている。</li> </ul>	
	7 事業所向け評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行なうとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・把握していない職員には、ホームページや資料配布にて公開している事を周知。各自確認することを指導。</li> </ul>

9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修が土曜日が多く、勤務のため参加できないことがある</li> <li>・以前に比べ減ってしまった。可能ならば増やしてほしい。</li> <li>・業務中の会話の中で話は行うも、集団での学習の機会が少ない。</li> <li>・前年に比べると減ったが、必要に応じて研修を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度からは月曜日に研修・話し合いを入れていく予定。</li> <li>・他に必要がある時は、時間を見つけて研修及び話し合いの時間をつくる。</li> </ul> <p>※役割分担の確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のミーティング時間の充実を図る。</li> </ul>
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種が一同で話をする機会が少ない</li> <li>・専門分野でない部分に関しては、他職員に相談しアセスメントを行なっている。</li> </ul>	
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動計画を立てる職員が1人で考えず、他スタッフにも相談、アイデアを聴きながら行っている。</li> <li>・季節の行事がある時はチームで話し合いを行うが、チームが揃って話し合う時間をもっと増やしたい。</li> <li>・リハビリ活動は毎月一覧表を作っているが、十分に浸透させることができていない。</li> <li>・一ヶ月の内容をチームで話し合い、日々の活動に関してはリーダーを中心に行っている。</li> <li>・全てではないが、節分、正月、クリスマスなど季節ごとのイベントや製作などについては話をして決めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会の実施に伴い、他職種の意見や情報発信、お互いの意見を交換できる場を作る。</li> </ul>

	16	<p>子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容を考える時は、子供達の状況や特性に合わせて、個別や集団を考えるが、計画には組み込まれていない場合が多い。</li> <li>・自由時間には児の支援計画に沿って、個別にかかわるよう心掛けている。</li> <li>・支援計画に具体的な記載はないものの、活動においては様々なタイプとの取り組みができていると思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、計画にも組み込むよう指導</li> </ul>
適切な支援の提供	17	<p>支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に打ち合わせできていない。自分がリーダーの時は時間を見つけて、他の職員と確認を行うようにしたい。その為にも余裕を持って支援内容を決めておくようにする。</li> <li>・以前は毎朝、昨日の報告と本日の確認が関係スタッフ全員で行っていたが、現在は行えていない。1人の発言を全員で聞いている為、解釈に差が生じにくかった。</li> <li>・毎回ではないが、前日に翌日の活動について確認を行っている。</li> <li>・必ずではない。いつもと変わったことをする場合は、事前に確認したり、お願いしたりするが、慣れている内容などについてはその都度伝えたりしながら行うことも。</li> <li>・支援内容についての確認が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に時間を設け、個々の児についての状況、活動内容の確認をしておくよう指導。</li> </ul> <p>※記録を確認しやすいように、前日来た人の伝えることメモをケースに貼っておく。</p>

18	<p>支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前は支援後に全員で振り返りができていたが、今は揃わずできていない。空いている時間に自分から気づきなどをそれぞれ確認していきたい。</li> <li>・振り返りなどは行うも、全スタッフではない。以前は前日の報告、当日の確認を関係スタッフ全員で行っていた。</li> <li>・必ずはできていないが、送迎中や記録を書くときに伝え合っている。</li> <li>・必ずではないが、気づいた点など、他職種に伝達するよう心掛けている。</li> <li>・毎回必ずできてはいないが、支援内容、活動内容で気が付いた点は伝えるようにしている。</li> <li>・朝のミーティングのノート以外に勤務終了後に記録とは別に、変更や電話での問い合わせなど職員で共有するノートがあると、前日が休日の職員でも把握しやすいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介助の方法や医療処置の変更は必ず伝え忘れないように所定の場所に明記し、伝達の徹底を図る。</li> <li>・気になることは朝のミーティング時に伝える。 (伝え忘れそうな時はピンクのバインダーにメモを残す。個人情報以外の情報に関するLINEなどのツール活用を検討。</li> <li>・決定事項ノートの作成の検討。</li> </ul>
19	<p>日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題提議、問題解決としてのコメントを心がけるべきではないか</li> <li>・支援を行なったその日に必ず記録を行っている。</li> <li>・日誌への記載にて対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こうだったら（こうすれば）→よかった（よかったかも）というような記録を心がけていく。</li> <li>・考察も入れた記録を心がけるなど、記録の書き方に気をつけていく。</li> </ul>
20	<p>定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回行っている。</li> <li>・モニタリングには取り組んでいるが、見直しには至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画が継続であっても必要時には見直している。</li> </ul>

22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		・把握していない職員には、必要に行っている事を確認し、周知するよう指導。
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	・重症のお子様は密に連絡を取り合っている。医療処置については、主治医に指示書を書いていただき、それに従って処置している。 ・医療ケア指示書の見直しや対応の確認など把握するよう心掛けている。	・把握していない職員には、必要に行っている事を確認し、周知するよう指導。
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	・児童発達支援ガイドラインについては保護者に示していなかった。 ・計画書にガイドラインについて示しているが、計画書の説明をする際、ガイドラインについて詳しく説明したりはしていない。計画書には目標、支援内容などを説明し、同意をいただいている。	・ガイドラインについての提示方法を検討。4月に文書を渡すか又はホームページの紹介など
34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	・関わる職員が、介助方法や悩みなどに直ぐに対応し、助言や話しを共感してもらえるだけでも、保護者の気持ちや負担は軽くなっていると思う。 ・機会はあっても十分な時間ではないと感じる ・面談や担当者会議などの時に相談があれば対応している。 ・面談の際に困っている事、悩んでいることを尋ねた、なるべくその場で助言など行なっているが、場合によってはスタッフと相談し、助言することもある。	・事業によっては、送迎時に話す機会を持っているが、不十分な場合は機会を設けるか、他の方法を検討する。 ・どういう相談があっているかを他のスタッフへの周知徹底を指導。
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	・ホームページで様子などを知らせている。 ・月に一度、ホームページにて活動内容や様子を継続して載せていきたい。	※今後さらにホームページ更新を増やし、情報を発信していく。基本的に月末に更新することに加え、不定期に更新することもあるということをみなさんにお知らせするか検討。

38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか		・これまでの取り扱いを継続し、勉強会などで認識の向上を図る。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	・秋祭りに招待し、事業所の様子を見ていただいた。	・秋祭りに地域の人を招待したが、認識がない職員もいたので、周知を促す。
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	・不十分さを感じる。 ・看護師以外が何の薬なのか把握できていない。看護師任せになっているところがある。	※服薬について看護師は確実に把握しているが、看護師以外の職員がどこまで把握が必要かを検討。
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	・食事の際のネームプレートにアレルギーを記載している。	・医師の指示書を基に食事を提供していることを認識していないスタッフに対し、再度指導する。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	・子供の安全について説明した上で、了承を得ている。	・ストッパーや、ベルトの緩みについて、再度徹底するよう指導。
		・ファンファンチェアやクッションチェアに座らせて拘束し、安全を優先してもストッパーがかかっている時間があるので、万が一ケガをした時に保護者からは、不信感があるだけだと思う。	

スタッフ11名に実施 回収率100%